



湯梨浜

議会だより

第 28 号

平成23年2月1日発行

ゆりはま

げんき いきいき かがやきのまち



1 2 月定例会

お抹茶をどうぞ

(あさひ保育所・田後保育所お茶会で交流)

提出議案の内容

2 面

一般質問 8 人の議員が問う

4 面

常任委員会審議内容等

1 2 面

平成22年第10回

12月定例議会

平成22年12月定例会が、12月16日から12月24日までの9日間の会期で開会されました。今定例会に提案された平成22年度各会計補正予算、条例の制定及び一部改正、人事案件の議案を慎重に審議し、提案された13議案すべてを原案のとおり可決（同意）しました。

さらに、国に提出する意見書、議員提出議案3議案も原案どおり可決しました。

いよいよ幼保一体化施設の建設着手へ

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ5億2846万9千円を追加し、予算総額を93億8346万9千円とするもの。

主な内容は、人事院勧告に伴う人件費及び中部ふるさと広域連合負担金の減額に対し、幼保一体化施設建設費の新規計上、間伐材などの森林資源を活用した産業再生事業として、福祉施設への緑の再生プロジェクト事業補助金の追加計上、羽衣石城落雷被害に伴う修繕工事による増額補正。

増え続ける国保会計と介護会計に対策は

国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ740万1千円を追加し、予算総額を18億4739万5千円とするもの。

主な内容は、全国的に変更される診療報酬請求システムを改修するための費用、医療費の増額などによる療養給付費及び高額療養費の増額補正により基金残高が83万円となる見込み。

算総額を1億6318万1千円とするもの。

主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ5023万6千円を追加し、予算総額を16億1065万6千円とするもの。

主な内容は、介護給付費の増に伴う国、県支出金等歳入及び歳出の増額補正。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ137万7千円を追加し、予

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ27

5万4千円を追加し、予算総額を11億9260万8千円とするもの。

主な内容は維持管理費の除雪に伴うマンホール関係の修繕などによる増額、施設整備事業費の新規加入に伴う管渠築造工事の増額補正。



落雷被害に遭った「羽衣石城」

農業集落排水処理事業特別会計

歳入歳出それぞれ35万3千円を追加し、予算総額を1億7419万3千円とするもの。

主な内容は、維持管理費の循環ポンプ修繕及び施設更新支援事業の増額補正。

簡易水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ70万3千円を追加し、予算総額を4679万8千円とするもの。

主な内容は、施設の修繕料などの増額補正。

国民宿舎事業特別会計

収益的支出の事業費用を190万5千円増額し、総額を3億6607万円、資本的支出の建設改良費を180万円増額し、総額を8447万1千円とするもの。

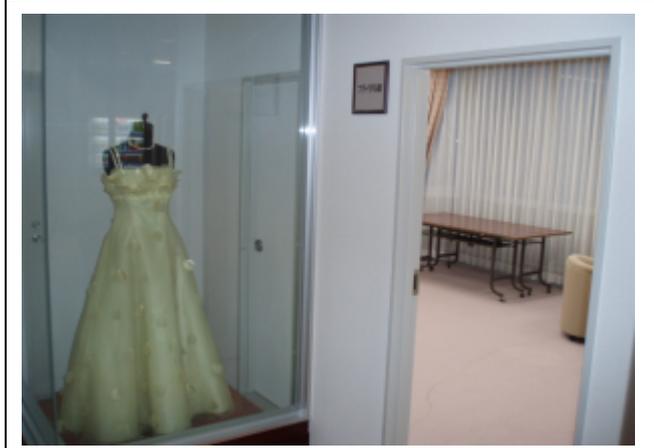
主な内容は、備品の購入や小会議室を客室への

改装費、インバウンド促進のための販売促進費用の増額補正。

水道事業会計

収益的支出の予定額に38万8千円を減額し、総額を1億8434万2千円とするもの。

主な内容は、人事院勧告などによる職員手当の減額補正。



客室へ改装される「水明荘」ブライダル室

福祉事務所4月開設に向け

条例関係

福祉事務所設置条例の制定

平成23年4月1日に、町福祉事務所を設置する条例の制定。

特別医療費助成条例の一部改正

平成23年4月1日から小児特別医療費の助成対象を、中学校卒業までに拡大する条例の一部改正。

特別医療費支給資格証（小児等）	
区分	小児
公費負担者番号	8 5 3 1 0 8 7 8
支給資格証記号番号	湯
氏名	
生年月日	平成 年 月 日
住所	東伯郡湯葉沢町
一部負担金	入院 1,200円/日、入院外 530円/回
月額負担上限額	入院 1,200円×入院日数（※注5） 入院外 月4日まで
自	平成 年 月 日

消防団の設置等に関する条例等の一部改正

消防組織法の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正。

町の教育委員決まる

教育委員

（任期 平成22年12月25日～平成26年12月24日）
中川 裕章（田後）

人事案件

今回、町の教育委員のうち1名の任期が満了することに伴い、提案された人事案件について、次の方の任命に同意した。（敬称略）



町消防団出初式

一般質問ここが聞きたい!

8人の 議員が問う

平成22年12月定例会の一般質問は、第5日目の12月20日(月)に行われた。

質問議員 8人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。



12月定例会本会議(議場風景)

鳥取県が、中国庭園「燕趙園」の飲食店と売店周辺一帯を道路休憩施設「道の駅」として国土交通省への申請を進め、平成23年4月の供用開始を目指しているという。認定には、24時間対応のトイレや道路情報の発信設備などの整備、バリアフリー対応などの条件を満たす必要があるが、国土交通省との協議でも可能である。

「燕趙園」は、本町における観光拠点として重要であると考え、県や県観光事業団と今後どういった連携を図っていくか伺う。



道の駅化をめざす燕趙園(旧天下市場)

Q 燕趙園の「道の駅」化への対応は
A 積極的に取り組み

入江 誠 議員

こうと考えておられるのか伺う。

答弁(町長)

燕趙園の「道の駅」化への対応であるが、県では、燕趙園周辺の集客力を高めるため、今年4月

オープンを目指している。燕趙園では現在、地元産品の農産品などを販売する売店を設け、地元産品のPRに貢献していただいているところである。町としても、町の観光情報はもとより、スポーツ施設や文化など、町の魅力を情報発信していただき、より長く滞在できる環境整備や、景観づくりに行政と民間が一体となって取り組みたい。

Q 町経営の軌道修正を

A 財政推計を見直す

上野昭二 議員

平成24年度以降の財政推移は、

答弁(町長)

国の財源は補助金の一括交付金化や、歳入の大半を占める地方交付税、国库補助金の動向は予断を許さない。町税収入の回復も不透明であり、公債費は16億円、実質公債

平成22年3月議会の予算委員会で確認され、その後、6月議会で議論した合併特例措置期限の平成27年度以降、5年間で交付金が段階的に5%削減されることが確認された。そして最終的に推計値で、平成32年度には、約64億円まで財政が縮小化する状況にある。それによって、町民サービスに大きな影響を与えないような財政の健全化と、適正化へ向けた軌道修正について再度伺う。

平成23年度の予算規模は、

費率は18%で推移する予測である。厳しい財政の中、住民福祉の向上や、産業の活性化など積極的に取り組む。

平成23年度予算は、おおむね80億円を想定している。

平成31年に向け、10億円減額する予想から段階的に縮小させるため、既存事業などさらに見直し、幼保一体化施設の建設、重要課題など、限られた財源の中、最大の効果が発揮できるよう努める。



建設が待たれる幼保一体化施設(イメージ図)

Q どのくらい、町のC 2削減

A 町民との協働で活動拡大

答弁町長

本町では、2010年度「湯梨浜町地球温暖化防止実行計画」を策定し、5年間でCO2 4.6%を削減する計画を立

県では1999年に「鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例」を制定、「鳥取県環境基本計画」を策定し「計画の目標 施策の方向」に沿って環境政策を進め、2008年度に『環境先進県に向けた次世代プログラム』で、2010年度までの3年間で、8%のC 2削減(1990年比)を掲げ推進している。そこで、国や県の目標に対する町の姿勢を伺う。県のC 2削減目標に対し、町の数値目標と具体的な施策は。県と町の目標達成状況、またエコ施策への予算措置は。町民への啓蒙活動、また職員への指導は。



ノーレジ袋のPR活動

どにより3.04%、生ごみ液肥化により1.56%である。エコ施策として資源ごみ、生ごみ処理機購入補助、マイバック運動、廃食油リサイクル、生ごみの液肥化に予算措置していく。

職員をはじめ、区長会、女性団体などの協力、協働で活動拡大を図る。

としている。燃料使用量な

Q 同和对策事業の見直しを

A 望ましいあり方を検討

竹中壽健 議員

ているのか疑問である。廃止すべきではないか。

答弁（町長）

「地域改善対策特定事業」最終により、住民税減額を廃止してきた。固定資産税については、早い時期の廃止を提起し、地区役員会へ説明をしている。

答弁（教育長）

地区進出学習会については、保護者、学校現場とも協議し、町全体の学力向上に向けた取り組みを考えたい。

答弁（町長）

就職支度金は、障がいをお持ちの方または同和地区の方で、中、高等学

和地区学生のみに出される。就職支度金を、なぜ同和地区学生のみに出される。

校、専修学校などを卒業し新規に就職される方に2万5千円を支給する制度で、同和地区のみを対象とする制度ではない。同和地区という条件を廃止し、支援の拡充を考えている。



湯梨浜町部落解放文化祭 2010 (文化会館)

Q 通学の安全確保を

A 防犯活動の充実



スクールバスの運行状況

10月下旬、宇野地区内で高校生が何者かに襲われる事件が発生した。

保護者、住民は不安を抱いている。経過と町の対応について伺う。

尖閣諸島、北朝鮮など政府の危機管理が問題となっている。山口県でも、子どもが犠牲になる事件

が発生している。身近に発生した傷害事件に対する町の危機管理について伺う。

宇野地区保護者から冬季間のスクールバス乗車の要望が出されている。事件が起こってからでは遅い。安心して通学できるように配慮できないか。

答弁（町長）

警察から不審者情報などあれば、ただちに防災無線を活用し、全町民の方へ周知するようにしている。これらを積極的に活用し、安全の確保に努めたい。

答弁（教育長）

今回の事件に関して、事件の翌日に、鳥取県教育委員会中部教育局からの情報で知った。ただちに教育委員会管轄各部署に情報提供し、注意喚起をした。

警察の巡回、PTAなどによる防犯の見守り、通学路の点検などの取り組みも配慮したい。規則では、スクールバスを利用できる範囲は、6km以上となっている。安心して登下校できるよう、地元ボランティアなどによる防犯活動もお願

Q 予算編成方針は

A 予算規模を縮小

浜中武仁 議員

「地域主権戦略大綱」において、平成23年度からの導入が予定されている「ひも付き補助金の一括交付金化」については不透明な状況で、地方財政は厳しい状況が予想されている。平成23年度予算編成方針に対する町長の所信を伺う。

また、来年度は、第2次総合計画の初年度でもある。本町の将来像をどう考えておられるのか、町政の課題と方向性について伺う。

また、行政改革実施計画が今年度で終了するが、

今後の方針を伺う。

答弁（町長）

予算編成は、平成23年度から平成26年度にかけて段階的に予算規模を縮小していく方針であり、現時点でおおむね80億円程度を想定している。

町政の課題と方向性については、町の第2次総合計画との整合を図りながら、有利な財源である合併特例債も視野に入れて判断していきたい。行政改革実施計画については、基本理念である「住民サービスの向上」を目指して、この5年間で、ある程度の成果を上げたものと認識しているが、引き続き全職員一丸となって改善・改革に取り組みたい。



策定間近か 第2次総合計画
(総合計画 審議会)

Q 介護予防の取り組みは

A 正しい生活習慣の啓発

第5期介護保険事業計画に向けた介護保険制度の改正の議論が進んでいるが、厚生労働省の試算では、全国平均で現在65歳以上の月額保険料4千160円が、2012年度には、約5千200円になる。これ以上の負担は理解を得られないのではと思うが、介護保険制度の本町の現状と課題について所見を伺う。

団塊の世代の今後を考えれば、介護予防事業はますます重要だと思いが、事業の取り組み状況と今後どう取り組むのか伺う。

答弁町長

介護保険制度は、平成21年度は、給付費が前年に比較して7%増加し

た結果となっている。

このままで推移すると、平成24年度から始まる第5期計画では、国と同様に5千円を超えると危惧している。

今後も、高齢者の皆さんが、いつまでも住みな

れた地域で過ごせるよう、社会福祉協議会と連携を密にして、介護保険事業を推進していきたい。

介護予防事業の取り組みについては、介護予防が必要と思われる人の基準を緩和して、より多くの人を対象とした介護予防教室などを町内数箇所を実施し、運動はもとより、正しい生活習慣の重要性を普及啓発していきたい。



介護予防講演会

Q 子宮頸がんワクチン接種に助成を

A ワクチン接種に助成実施

増井久美 議員

答弁（町長）

第176臨時国会や、県議会の補正予算成立を受けて、本町においても補正予算にワクチン助成を計上した。

現段階での助成対象

者は、平成22年度250人。平成23年度333人の中学1年生から高校1年生とし、助成額は1回あたり1万3千円とした。

子宮頸がんは、「検診」と「予防ワクチンの接種」によって、「予防できるがん」であり、教育委員会と健康福祉課が連携して研修会の実施などにより受診をPRしていきたい。

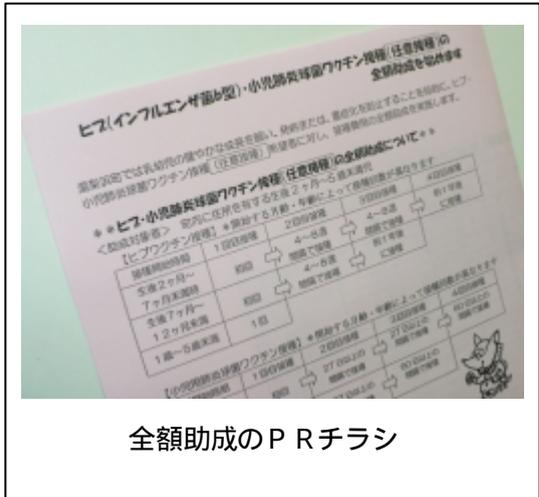
平成22年3月議会においても「子宮頸がんワクチンに町の助成をしてほしい」という要望をしましたが、もう少し経緯をみるということだった。その後、県内でも独自に助成をする自治体が増えてきている。

国は平成22年度補正予算で、ワクチン接種助成事業を実施する方針を示している。当町でも、ぜひ前向きに検討していただきたい。



子宮頸がん予防ワクチン説明会

Q 子どもたちの医療費に全額助成を
A 対象を中学校卒業まで拡大



全額助成のPRチラシ

当町の子育てを支援する観点から、2点についてお聞きしたい。
当町では、乳幼児から中学校卒業まで医療費は半額助成だが、県も助成に踏み出すと聞いている。全額助成になるのか聞きたい。

「ヒブワクチン」及び「小児用肺炎球菌ワクチン」接種の助成は国でも検討されているようである。また、近隣の町でも助成する自治体が増えてきている。ぜひ当町においても、実施の方向で検討していただきたい。

答弁（町長）

子どもの医療費助成については、中学校卒業まで延長して町独自で2分の1の助成をしている。

医療費助成制度は県が制度設計を行い、市町村がそれに応じて条例を制定している。現在、小学生未満の子どもの医療費助成をしているが、今年4月から対象を中学校卒業までの子どもに拡大し、実施することとなった。

国の経済対策に関する補正予算に「子宮頸がんワクチン」を含めて「ヒブワクチン」と「小児用肺炎球菌ワクチン」の接種の促進が盛り込まれたことを受け、町としても費用の助成を補正予算に計上した。対象者へのPRをしていきたい。

増井議員は、このほか「保育所について」の一般質問をしました。

Q 男女共同参画プランの検証は

A 数値目標で管理が必要

会見祐子 議員

男女共同参画プランの見直し、条例制定に対してその後の取り組み、検証はできているか伺う。
少子化に歯止めをかけるには、子育てと職業が両立しやすい町づくりが根源である。
働きやすい職場環境の実現と職業家庭両立推進者を目指す企業は、町内には3企業ある。今後の推進に対しての取り組みと町内の研修会・日本女性会議への連携と協力を伺う。

答弁（町長）

条例制定だけでなく、数値目標を定め進行管理も必要。

「ゆりはま家族の日」に向け、町商工会会員の協力を仰ぎながら、企業などへの浸透を図っている。

きたい。

「日本女性会議200

11松江大会」に向けて

は、役場でも多くの町民

が参加できるよう協力し、

参加者へはマイクロバスの

の運行も行い、支援して

いきたい。

また、「湯梨浜町女性

フォーラム2011」に

向けては、主催者の一員

として、協力できること

は支援したい。



女性フォーラム2010

Q 高齢者の生活活性は集落単位で

A 老人会づくりを支援

高齢者の生涯学習、生活活性は集落単位で行われるのがよいと思うが、

74集落において格差が

あるようだが、対策はあるのか伺う。

独居老人、地域外に出

られない高齢者には行政

からの支援が必要である

が、社会福祉協議会と連

携した取り組みを伺う。

老人会の会員減少と

単体クラブの減少につい

ての対策と、協力体制を

伺う。

答弁（町長）

町内の老人会は30クラブに減少しており、区長会へ協力依頼している。

「湯梨浜文化大学」の充実を図るなど、新たな団体づくりを期待し支援したい。

町社協の協力を仰ぎ、「保健福祉」との連携をはかれるよう、ハード・ソフトともに支援したい。

老人会へ参加資格ができる団塊の世代が、老人会へ新しく参加しやすくなるよう支援したい。
高齢者の独居、夫婦対策としては、生活状況を把握するために、地域の中で、日常的に状況が把握できるようにしたい。



集落で高齢者の会食

Q 児童館長に必要な資格は

A 児童館業務に執意

石井輝美 議員

浜児童館の館長選任

に関する投書では、配置された専任の館長は「運動団体の支部長」であり、そのような人を「公共施設の館長にするのはまぢがい」だと述べておられる。

正式な肩書きは、

選任理由ならびに館長の資格についての見解は、法令等で定められている館長の資格要件を持ち合わせておられるのか伺う。

答弁（町長）

選任された児童館館長

の団体役職は「部落解放同盟鳥取県連合会浜支部長」である。

4月に浜区臨時総会が開催されたのち、推薦書が提出され、選任したものである。

館長の資質として「人格、識見ともが高く、社会的信望があり、地域住民や保護者から信頼され、同和問題に対して正しい認識を有し、児童館業務に熱意を持ったものである」と推薦された。

答弁（教育長）

館長は「湯梨浜町あらゆる差別をなくする審議会」の会長とし、総合計画の策定、進捗状況の管理や各種事業に献身的に携わっておられる。



「浜児童館」

Q 消防施設の整備は

A 法令に基づき整備

平成22年9月の決算議会で消火栓や防火水槽など消防施設整備について、担当課長は「どこが負担するか法的なものは無い。湯梨浜町では、自治会等に補助しながら整備していただいている」と答弁、共通認識に至らなかった。そもそも「受

益者負担金をいただく」などとした合併協定は「住民の負担は低いほうに調整する」とした合併の原則に反し法律にも違反するとして問題にしてきた。消防組織法・消防法・水道法など法律はどう定めているのか伺う。

答弁（町長）

本町の消防は、消防組織法により条例及び規則を定め、消防力の整備指針、消防水利の基準に沿って整備を進めている。それを活用し、鳥取中部ふるさと広域連合消防局」と協力し、生命、身体及び財産を火災から保

護するよう任務を果たしている。
防火水槽、消火栓など設置整備のあり方については、消防施設整備事業補助金交付という形で進めている。消防水利の基準により、町内全域半径140mの範囲内で基準を満たしている。



水利を確保 消火栓

Q 学校図書館専任職員の配置は

A 適否を検討

河田洋一 議員

館教育の取り組みを行っていただくため、常勤の学校図書館専任職員を各校へ配置できないか伺う。

答弁（教育長）

教育委員会としては、湯梨浜町小学校及び中学校管理規則に「学校に、

学校主事及び司書を置く。」と定めており、原則専任職員の配置が望ましいと考えている。

しかし、同条には、続けて、「ただし、特別の事情のあるときは、学校主事及び司書を置かないことができる」と規定されているので、町の財政状況、学校規模、定数事情、各学校からの配置希望状況などを総合的に判断して、司書専任職員の配置の適否を検討したい。

町内の中学校2校では、平成22年9月にパソコンを導入した新しい図書システムが完成し、生徒が図書館を一層利用しやすい環境が整備された。常勤（夏休みなどを含む）の図書館司書がないため、現在の体制では図書館の利用時間が制限されている。また、小学校においても、学校ごとに工夫した図書館業務を行っているが、子どもたちや授業のニーズに十分対応しているとは言えないのが現状である。

さらに充実した図書



身近な中学校図書館

「尾崎邸」県文化財指定へ

議会全員協議会

12月16日
12月24日 開催

て、料金、使用料はどうなるのか。

A 保育所は所得により、また、幼稚園は基本時間（午前9時から午後4時まで）に基づき料金設定の見直しを検討している。

Q 尾崎邸（宇野）の文化財への指定の状況は

A 現在は無指定の状態であり、県の文化財に指

定されるための準備を進めており、県文化財保護審議会答申を受けて指定される予定である。

Q 鳥インフルエンザに関する情報の窓口は。

A 町では、防災係が情報の一元化をしている。鳥の死骸を見つけた場合は役場へ報告をしていただくよう、防災無線で町民の皆さんへお知らせした。

Q 新しく建設する幼保一体化施設の運営について

12月定例会の初日と最終日に議会全員協議会を開催。ここでは主な協議の内容について、Q&A形式により掲載します。



地元の宝 「尾崎邸」

常任委員会 審議内容

総務産業常任委員会
12月22日

Q 韓国ドラマ「アテナ」のインバンド促進に向けた観光案内板、パンフレット以外のものは、

A 国道、県道についても県や「中部ふるさと広域連合」と連携して積極的に推進していく。

PR用リーフは、「中部ふるさと広域連合」が中部管内のものを作成中。

Q ナラ枯れ被害対策は、薬剤注入だが、イタチこつこになると思うが、

A 現在の方法は、薬剤を注入し、木に入り込んだ虫を封じ込め、他の木に拡がらないようにする方法である。



防除作業を軽減（送風式薬液噴霧機）

Q スピードスプレヤ（薬液噴霧機）を購入されるが、活用の仕方は、

A 梨の関係で、JA鳥取中央東郷果実部で管理しながらグループごとの貸し出しを考えている。できる限り防除作業を軽減していきたい。

Q 光ケーブル網の田後地区の増設は、当初から

想定して整備したのでは、

A 開発行為により住宅団地が増加し、その時点では、整備していなかった。増設の通信回線は、支線である。

Q 水明荘2階の小会議室の改装の内容は、

A ブライダル室の利用が減つたため、客室にするもの。

和室に改装し、週末はファミリーに、ビジネス客にも旅館を味わっていただく。

Q 宅地内漏水した場合の周知方法は、

A メーター検針の際、検針値が通常の3割を超えれば、漏水の通知を検針員がポストに入れるなどお知らせしている。

教育民生常任委員会

12月22日

Q 今年4月に新設される町福祉事務所の業務内容は、

A 例えば高齢者福祉の窓口を一つにするなど、わかりやすくスムーズなサービスにつなげる体制とする。

また、これまで生活保護の決定など、県で行っていた業務を町が行うことにより、総合的な対応ができる。

Q 国民健康保険の医療費が増額傾向にあるが、対策は、

A 健診による病気の早期発見で、医療費が削減できることなどを説明し、人間ドックなどの受診率向上を目指していく。



受診率向上により医療費削減

Q 子どもを特別支援学校に進学させることを考えておられる保護者に対する相談体制は、

A 就学指導は小学校在学中も行っている。中学

校進学の際は、担任と保護者が相談を行い、町郡の就学指導委員会で協議し、進学先を決定する際、保護者の意向にこたえられるようにしている。

職員・議員の期末手当を減額

第8回臨時会

第8回臨時会が10月29日に開会されました。工事請負契約の締結について2件の町長提出議案について審議、採決が行われ、原案どおり可決されました。

町道松崎田畑橋線（バイパス）道路橋下部工事
羽合新配水池築造工事



早期供用開始を目指す。（町道松崎田畑橋線）

第9回臨時会

第9回臨時会が11月26日に開会されました。

一般会計補正予算、条例の一部改正1件の町長提出議案及び条例の一部改正1件の議員提出議案について審議、採決が行われ、原案どおり可決されました。

また、行財政問題調査特別委員会の中間報告も行われました。

一般会計補正予算
北浜中学校屋内運動場の耐震補強と大規模改修工事に要する費用を補正計上。

職員の給与に関する条例等の一部改正
議員報酬及び旅費に関する条例の一部改正

行財政問題調査特別委員会中間報告

平成21年10月23日に設置された「行財政問題調査特別委員会」は、できる限り第2次総合計画へ提言を反映させることを前提としたスケジュールで進め、今回のおり中間報告書としてまとめました。

一 各事業などに明確な削減目標値を定め、歳出抑制と段階的な普通会計の縮小化を。

財政の正常化に向け、計画的な財政規模の縮小化を図る。

補助金等の整理統合と削減を図る。

費用弁償、手当などの精査見直し削減をする。

税などの徴収対策を具体化し、不納欠損処分をなくす。

組織のスリム化を実施し、更なる定員管理の適正化を図る。

適正な人事評価制度の完全実施と、職員意識改革を図り、適正な給与水準及び昇給体系の確立を図る。

ITを活用した住民ニーズに対するシステムの形成を図る。

「教育委員会」「監査委員会」などの組織機構を見直し、事務事業の整理合理化を図る。

財政の縮小化を町民へ周知徹底をする。

二 産業振興などにより、歳入の増加と雇用創出を。

新規起業への投資的な協働開発を図る。

地場産業の再建（再

構築）を図る。

若者の定住化、Ｕターン、イターンなどにより人口維持を図る。

あらゆる町所有物に企業広告の掲載などの強化を図る。

『ふるさと納税』の斡旋強化を図る。

三 高齢化対策及び限界集落対策を実施し住民サービスの向上を。

高齢者等の日常生活を支援する。

施設入所待機者の救済措置を図る。

中学生がまちづくりへの提案



子ども議会の様子

12月27日、東郷中学校と北溟中学校の生徒たち17人による子ども議会が開催されました。湯梨浜町の将来を担う中学生の皆さんが、自分たちの目から見た町に対する質問など熱心に議論を展開し、まちづくりへの関心を深めました。議長を勤めたのは、東郷中の福田璃緒さん。町議会議員のアドバイスを受け、グループごとで質問しました。子ども議員と、質問の内容は次のとおりです。

校名	議員名	質問事項
東郷中学校	森 光生 市部 元気 中前 彩	町内施設を有効活用しながら、町民が集える会、イベントなどを企画していく。 (町内の方との交流) 町内の歴史ある古い町並みを、歴史を学ぶことができる遊歩道、歴史ロードとして整備する。(町外の方との交流) 町内施設、歴史を有効活用して、幅広い人間関係を築いていく。
	市橋 一樹 森田 貴洋 南場美沙都	東郷地区では、部落座談会への参加者が少ない。人権を考える重要な取り組みのはずだが、町としての取り組みが、町民に浸透していないと思う。 学校では、人権学習に取り組み、自分を見つめながら、他人の人権を考えている。大人になっても見つめる時間を持ち人権について考えることは必要だと思う。 部落座談会を住民の顔合わせの機会とし、「近所つきあい」を通して、町民みんなが成長するとともに、社会の問題、家庭問題も解決するきっかけにもなる。
北溟中学校	石井 優佳 岸本 鈴乃 村口 七海	街路灯整備について 高齢者と町民の交流の活性化対策について 町民への病気予防対策について
	浦坂 和秀 武田 成洋 宮口 峻	町内一斉の清掃活動を中心として、町民の美化に対する意識を高める。 二酸化炭素の削減を積極的に取り組み、湯梨浜町がエコ活動の推進地域になる。
	尾川阿不季 福井 瑞季 浦坂 幸奈 田村 舞	観光地のイメージガールやボーイ、レンジャーをつくりその人を中心にメディアを通じて湯梨浜町をPRする。 有名人を観光大使に任命し、広報活動を行う。 観光コースを整備し、湯梨浜町の魅力を伝える。

先進地視察

中学校統廃合問題調査特別
委員会視察

・視察地
兵庫県香美町、新温泉町
・研修事項
香美町村岡区3中学校
統合について
浜坂中学校の耐震・改
修工事について



耐震補強された校舎
(兵庫県新温泉町「浜坂中
学校」)

陳 情 審 査

12月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果
子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	日本の子どもの未来を・守る会 妹尾 順子	不採択
「食料・農業・農村基本計画」に沿って、実効ある施策の推進を求める陳情書	全日本農民組合鳥取県連合会 会長 田中 宏 会長代行 鎌谷 一也 鳥取県酪農農産物連合会 会長 鎌谷 一也	採択
環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の参加に反対する陳情書	農民運動鳥取県連合会 東田 久	採択
住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情	鳥取県国家公務員労働組合共闘会議 議長 山岡 英之	趣旨採択
島根原子力発電所の早急な耐震補強対策を求める陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 大下 真史	採択
原子力に依存しないエネルギー政策への転換を求める陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 大下 真史	趣旨採択
地元町内業者の保護育成に関する陳情書	湯梨浜町建設協議会 会長 山口 芳治	採択

議 員 発 議 で 政 府 に 意 見 書 を 提 出

「食料・農業・農村基本計画」に沿って、実効ある施策の推進を求める意見書
提出先：内閣総理大臣、農林水産大臣、参議院議長、衆議院議長
「環太平洋戦略的経済連携協定」(TPP)に参加しないことを求める意見書
提出先：内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣、参議院議長、衆議院議長
島根原子力発電所の早急な耐震補強対策を求める意見書
提出先：経済産業大臣
地元町内業者の保護育成に関する意見書は、地方議会事務提要に基づき未提出とした。

ミュージカルでまちの活性化

湯梨浜町民ミュージカル実行委員会

アートマネージャー 河村祐子さん

湯梨浜町民ミュージカル実行委員会は、「まちづくりステップアップ事業」の補助を受け、昨年11月28日(日)に第4回湯梨浜町民ミュージカル『もうひとつの青い鳥』を無事公演することができました。

今回のテーマは『絆』。湯梨浜を舞台に、年々希薄になっている、「人と人とのつながり」「命の尊さ」などを、「ご来場いただいた方々に感じ取っていただき、舞台と鑑賞者がひとつになるもの」のように努力を重ねてきました。

年代、職業、地域、性別など様々な人たちがひとつの目的に向かって前に進み、苦しい時も悲しい時も支え合い、テーマどおりの『絆』で結ばれ、大きな力となって素



町民ミュージカル「もうひとつの青い鳥」より

晴らしい結果を生み出すことができました。ゼロから出発した町民ミュージカルですが、ここまで続けてくることのできたのは、多くの方の温かいご支援、ご協力で支えていただいたからです。心から感謝し、この活動を継続するよう努力していくことが、私たちの責務だと思っています。

心はひとつ『絆』

今年は、5周年公演となります。子どもから年配の方まで、誰でも参加・鑑賞いただき、さらなる飛躍の年となるようがんばっていきましょうと思っています。そのためにも、湯梨浜町のご支援・ご協力が大きな支えになります。今後とも、よろしくお願いたします。

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

? 35-5341 メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

編集後記

「二日の計は朝あり、一年の計は正月あり」と言われておられる。何事も最初に計画や準備をすることが大切だと言いますが、皆様方は新年を迎えられ、心も新たにスタートを切られたことと思います。

さて、年末年始に山陰地方を襲った大雪で、年始のあいさつも「大雪で大変ですね」から始まる。豪雪の影響で農業などへの被害も広がり、大変な一年のスタートとなってしまいました。

私も、雪をほねるのに精一杯で、今年の計画を考えるまもなく正月が過ぎてしまっただが、新たなスタート、健康増進には十分な気をつけて、初心を忘れず、この一年頑張っていくと思っています。

(記 浜中)

議会広報調査特別委員会

委員長	浜中武仁
副委員長	河田洋一
委員	入江 誠
"	上野昭二
"	会見祐子
"	吉村敏彦